



知ってトクする節約術 第2回

旅の費用を抑えるヒント

1年が後半にさしかかるとお盆休みや秋の行楽シーズン、年末年始の帰省など、長距離を移動したり、旅行に出かけるシーンも増えてきます。楽しみなイベントでもあため、予算は気にしつつも満足できる旅にできると嬉しいですね。

今回は、長距離移動や旅行での支出を抑えるコツについて紹介します。

早めの計画が有利。帰省でもツアーを検討

旅行は早めに計画を立てて予約できるほうが、通常は有利になります。

新幹線だと21日以上前に購入することで割引が受けられる「早特きっぷ」や、座席数限定の割引きっぷなどがあります。割安なチケットは、新幹線の予約が可能になる1カ月前にすぐ手配しないと、売り切れになることも多いです。

飛行機も75日以上前に予約することで大

幅に割引が受けられるチケットがあるため、やはり、早めの計画と予約が有利なことがわかります。

一方で、新幹線や飛行機などを個別に手配するより、**宿泊料金を含めたツアーのほうが安いことも多い**です。旅行会社は新幹線や飛行機、ホテルなどを個人に比べて大量に取引するため、個人で手配するよりもそれぞれの料金が割安になるからです。

帰省の際は、実家に泊まるからと宿泊を伴うツアーを選択肢に入れていないかもしれませんが、1泊だけ宿泊して後は自由とあったプランを提供している旅行会社もあります。飛行機や新幹線を自力で手配するのではなく、ツアーを検討するのも一案です。

LCCを利用。ただしビジネスクラスで

大手航空会社より格安に飛行機に乗ることができると注目を集めている「LCC（格



風呂内 亜矢

1級ファイナンシャル・プランニング技能士

【ふるうち・あや】

26歳・独身・貯金80万円でマンションを衝動買いし、慌てて貯蓄とお金の勉強をスタートする。現在は夫婦で4部屋の物件を所有し、家賃収入も得ている。テレビ、新聞、雑誌のほか、書籍でも積極的にお金に関する情報を発信している。最新刊は『ほったらかしでもなぜか貯まる!』（主婦の友社）。

安航空会社」。サービスが少なく、座席が非常に狭いという印象があるかもしれません。サービスについては、やはり大手航空会社のほうが手厚いと言えますが、座席の狭さについては、実はビジネスクラス級のシートを選択することで、コストパフォーマンスを感じられる可能性があります。

LCCの中長距離路線など、一部の路線では、ビジネスクラスに相当するシートを用意していることがあります。エアアジアXなどでは、ほぼフルフラットで眠りながら移動できる仕様になっていて、身体への優しさの観点では十分な広さと言えます。

一方、サービスやWebサイトの使いにくさなどの品質は、格安航空会社ならではの課題も残ります。

最近では大手航空会社もエコノミークラスとビジネスクラスの間にあたり、座席が広く空港ラウンジなどが利用できるプレミアムエコノミーシートを提供しています。

「LCC＝狭い」という固定概念は外して、ラウンジ利用をはじめサービスの手厚さや遅延の少なさを重視するのか、値段の割に広々と移動することを重視するのかなどで使い分けると選択肢が広がります。

SIMフリースマホなら、モバイルWiFiよりプリペイドSIMを

海外旅行先でのインターネットにモバイルWiFiを契約する人も多いでしょう。しかし利用しているスマートフォンがSIMフリーであれば、現地で利用できるプリペイドSIMを利用するのもコストと利便性の面で有用です。

スマートフォンは、例えばアップルストアでiPhoneを購入した場合はSIMフリーですし、docomo、au、Softbankなど大手3社も、一括購入ならすぐに、分割購入でも購入日から101日以上



経過した端末であれば、手元の設定でSIMフリー化できます。

モバイルWiFiの場合、通信会社や渡航先、プランによっても異なりますが、例えばマレーシアに旅行する場合、1日1300円くらいで借りることができます。5日間の旅行であれば6500円、割引やキャンペーンなどを駆使しても5000〜6000円程度かかります。

プリペイドSIMの場合、どこで購入するかや渡航先にもよりますが、例えばマレーシアやシンガポール、日本などアジア16カ国をまたいで利用できるSIMカードを1500円くらいで購入することができます。利用期間は8日間で利用できる容量は4Gまでなど注意点もありますが、一般的な日数の旅行であれば概ね対応できます。携帯電話の通常のプランが1カ月で5Gで契約することが多いことを考えると、旅行期間中に4G確保できれば、足りなくなることもなさそうです。

プリペイドSIMの費用は、5日の旅行の場合でモバイルWiFiと比較しても5000円程度安いうえ、端末を返却したり、旅行先の荷物を増やさなくてもよい点でも利便性が高いです。

利用エリアに日本を含んでいるプリペイドSIMであれば、**旅立つ前にスマートフォンにSIMカードを入れて動作検証してみたら出発できる点も安心です。**この場合、使い始めてから8日などのしぼりがあ

ることが多いため、動作検証は旅立つ当日や前日など直前にしたほうが良いでしょう。

モバイルWiFiの場合は、対象となる国以外で電源を入れると追加料金がかかることもあります。そのため、通常は国内での動作検証をして出発できないことを考えても、やはりプリペイドSIMのほうが利便性は高いでしょう。

旅行積立、ハワイ限定でさらにプレミアムアップ

その他にも、あらかじめ旅行の計画を立てて「旅行積立」を利用する方法もあります。旅行積立は航空会社や旅行会社が販売し、年利にすると1・75%や3%などのプレミアム率が付与される商品です。例えば毎月2万円を2年間積立てた場合、満期額の48万円に8750円などの上乗せがされたりします。ANAではプレミアム率年利3・8%と高く設定しているハワイ限定商品も発売しています。

数年前から計画が立てられる記念旅行や、お盆や年末年始など旅行代金が高い時期にしか動けない人にとっては旅行積立も有用でしょう。

旅行のお金は最安なら正解と言えない部分も多いでしょう。手間や制約など引き換えにするものと天秤にかけながら、自分にとってより心地よいバランスの選択肢を選べると理想的です。どうぞ楽しいご旅行を。